

分類:地域振興

石窯のあるキャンプ場

< 築上町寒田地区牧の原キャンプ場 >



1. 概要(きっかけと計画づくり)

- 福岡県築上町寒田地区にある**牧ノ原キャンプ場**は6月末から8月末までの夏の間の**2ヶ月しか利用**されていません。
- **年間を通じて**キャンプ場を利用できないかを考えました。
- その結果、キャンプファイヤーに代えて**炭焼き窯**を基本とした、**大きな石窯**を設け、四季折々の地元食材を料理し、だれもが体験できる場所にしようと計画しました。



築上町寒田
牧の原キャンプ場

2.活動の経過



大石窯

中石窯

- 地元自治会長をリーダーとした地元の人たちにより、2010年7月から計画と窯作りを開始し、11月に完成しました。
- その後、秋、冬、春、夏と石窯料理の体験会、アンケート調査、石窯の達人育成などを行い、営業に向けて準備中です。

石窯料理で試した主なメニュー

- 塩窯：コショウタイ（豊前海産）、しし肉、鹿肉、地鶏など
- ピザ：そば粉入り生地もトライ
- 焼物：（魚）鮎、ヤマメ
（肉）しし肉、鹿肉、鳥肉
（野菜）さつまいも、ジャガイモ、玉葱
- （果物）リンゴ

*** これらの食材は地元産を使用します。**

石窯料理：いろいろ試しました



(塩窯料理) コショウタイ (豊築漁協提供)



ソバ生地ピザもチャレンジ
(西工大留学生・子供たち)



(塩窯料理) しし肉・鹿肉



トリもチャレンジ



石窯活用のとりくみ



もみじ祭の試食会とアンケート調査



石窯による地域活性化ワークショップ



来客者試食会



運営方針会議

地域の活性化に役立つか (寒田のワークショップ)

- 段取りよく料理すれば
- つかい方が分かりやすければ
- 設備が整えば
- PRが必要(新聞、TV、雑誌、インターネット、行政)
- 料理教室番組をすれば
- 美味しく調理できるレシピ
- 山の幸と海の幸を一緒に楽しめること
- 地域が一つになれば

3. 期待する効果

石窯体験料理により、現在社会ではほとんど体験できなくなった火(炎)の暖かさを知らせることができる。

年間を通して、キャンプ場を利用できる。

森に眠っている間伐材、枯れ木、材木の切れ端などをマキにすることによりエコな燃料とするとともに森の保護になる。

地元食材の良さを知ってもらい、消費拡大、ブランド化につながる。



以上により、
「地元の人材発掘」、「若者の定住」、「農業・林業の活性化」
が期待できる。

4. 今後の課題・今後の夢

【課題】

石窯前にテントを張って食事をしている。

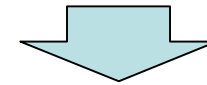
将来は、雪や雨のときにも利用できる施設が必要。

キャンプ場にあるバンガローは夏用で冬は寒い。

暖房施設が必要。エコなマキストーブが良い。

【夢】

京築から大分北・東部にかけて多くの石窯が存在する。



これらを結ぶ「石窯ライン(街道)」を夢見ています。



Photo:H22.12.12



地域が動き始めました!!